

大都市データ

川崎市をはじめ18の政令指定都市と東京都区部の19大都市は「大都市統計協議会」を設置して、各都市の各種統計情報を集約し、毎年「大都市比較統計年表」を作成、発行しています。

ここでは、「大都市比較統計年表(平成21年)」などをもとに、主要な統計情報からみた川崎市及び各都市の特徴をまとめました。



1 人口・世帯数及び面積

●人口密度は高く大都市で第3位

都市名	政令指定都市への移行年月日	区数	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(k㎡)	人口密度(人/㎡)	昼夜間人口比率(常住人口=100)	平成22年度当初予算額(百万円)
1	東京都港区	—	8,945,695	4,540,746	621.83	14,386	135.1	6,264,000
2	大阪府大阪市	昭和31.9.1	2,665,314	1,317,990	222.47	11,981	138.0	1,690,478
3	川崎市	昭和47.4.1	1,425,512	662,694	142.70	9,990	87.1	611,672
4	横浜市	昭和31.9.1	3,688,773	1,583,889	437.38	8,434	90.4	1,360,351
5	名古屋市	昭和31.9.1	2,263,894	1,021,227	326.43	6,935	114.7	1,034,483
6	さいたま市	平成15.4.1	1,222,434	503,126	217.49	5,621	91.9	429,000
7	堺市	平成18.4.1	841,966	344,465	149.99	5,614	93.5	327,572
8	福岡市	昭和47.4.1	1,463,743	707,358	341.32	4,289	113.4	738,648
9	神戸市	平成4.4.1	961,749	406,309	272.08	3,535	97.2	350,370
10	北九州市	昭和31.9.1	1,544,200	684,183	552.66	2,794	101.8	766,136
11	京都市	昭和38.4.1	976,846	420,702	487.89	2,002	102.8	532,875
12	札幌市	昭和31.9.1	1,474,015	681,581	827.90	1,780	108.4	768,651
13	仙台市	昭和47.4.1	1,913,545	885,848	1,121.12	1,707	100.9	822,900
14	新潟市	平成元.4.1	1,045,986	465,260	783.54	1,335	107.7	442,066
15	広島市	昭和55.4.1	1,173,843	512,907	905.41	1,297	102.6	591,637
16	新潟市	平成19.4.1	811,901	312,533	726.10	1,118	102.4	353,700
17	岡山市	平成21.4.1	709,584	296,790	789.91	898	105.9	241,355
18	浜松市	平成19.4.1	800,866	300,444	1,558.04	514	100.7	266,000
19	静岡市	平成17.4.1	716,197	279,019	1,411.85	507	103.8	266,700

*人口・世帯数は平成22年10月1日現在。*区数・面積は平成22年10月1日時点で、面積は国土交通省国土地理院数値。
*昼夜間人口比率は平成17年国勢調査。*平成22年度当初予算額の東京都区部は、「都」の数値。

データチェック

人口及び世帯数が最も多いのは東京都区部で、次いで横浜市、大阪市の順となっており、川崎市は人口、世帯数ともに第9位となっています。また、面積が最も広いのは浜松市で、次いで静岡市、札幌市の順となっており、川崎市は最も狭く第19位です。人口密度では東京都区部が最も高く、次いで大阪市、川崎市の順となっています。
昼夜間人口比率をみると、大阪市が最も高く、次いで東京都区部、名古屋市の順となっています。一方、昼夜間人口比率が最も低いのは川崎市で、次いで横浜市、さいたま市の順となっています。

2 人口動態

●人口増加比率は大都市で第1位

(単位:人、%) (平成21年中)

都市名	人口増加(自然増加+社会増加)	自然動態			社会動態			人口増加比率(人口増加数/人口)	
		自然増加	出生	死亡	社会増加	市(都)外との移動	市(都)内移動その他		
1	川崎市	17,066	5,704	14,650	8,946	11,362	11,209	153	1.21%
2	さいたま市	12,083	2,935	11,072	8,137	9,148	8,700	448	1.00%
3	福岡市	12,705	4,944	14,337	9,393	7,761	4,398	33	0.88%
4	千葉市	7,433	1,486	8,242	6,756	5,947	5,654	293	0.78%
5	東京都区部	60,187	5,963	73,555	67,592	54,224	38,567	15,657	0.68%
6	横浜市	18,362	6,922	32,816	25,894	11,440	10,576	111	0.50%
7	名古屋市	8,570	1,788	20,515	18,727	6,782	5,768	1,014	0.38%
8	広島市	4,415	2,827	11,519	8,692	1,157	1,699	▲542	0.38%
9	大阪市	9,432	▲1,921	23,423	25,344	11,353	11,353	...	0.35%
10	札幌市	6,113	▲136	14,454	14,590	6,249	6,114	135	0.32%
11	岡山市	1,894	930	6,623	5,693	730	757	▲27	0.27%
12	仙台市	2,655	2,414	9,361	6,947	241	▲341	44	0.26%
13	堺市	1,874	741	7,587	6,846	1,133	1,022	111	0.22%
14	神戸市	3,436	▲508	12,981	13,489	3,944	3,714	230	0.22%
15	新潟市	317	▲586	6,470	7,056	903	877	26	0.04%
16	京都市	▲2,290	▲1,526	11,643	13,169	▲764	▲1,240	41	▲0.16%
17	北九州市	▲1,986	▲1,698	8,478	10,176	▲288	▲975	687	▲0.20%
18	静岡市	▲1,671	▲792	5,850	6,642	▲879	▲911	32	▲0.23%
19	浜松市	▲3,452	691	7,445	6,754	▲4,143	▲4,256	113	▲0.43%

データチェック

平成21年1年間の川崎市の人口増加数は1万7,066人となっています。人口増加数が1万5,000人を超えているのは、川崎市の他、東京都区部、横浜市となっています。また、人口増加率は川崎市が最も高く1.21%で、1%を超えているのは川崎市の他、さいたま市となっています。

3 年齢別人口

●生産年齢人口構成比は大都市で最も高く、平均年齢は最も低い

(単位:人)(平成22年10月1日)

都 市 名	総数	年齢階級別						平均年齢
		15歳未満	構成比	15~64歳	構成比	65歳以上	構成比	
1 川 崎 市	1,425,512	185,571	13.1%	988,540	70.0%	237,298	16.8%	41.5
2 福 岡 市	1,463,743	191,824	13.3%	997,884	69.1%	254,085	17.6%	41.9
3 仙 台 市	1,045,986	136,832	13.3%	703,379	68.2%	191,722	18.6%	42.3
4 相 模 原 市	717,544	93,750	13.1%	481,281	67.5%	138,094	19.4%	42.8
5 さ い た ま 市	1,222,434	166,926	13.8%	813,060	67.0%	233,564	19.2%	42.8
6 広 島 市	1,173,843	167,793	14.5%	755,983	65.5%	231,145	20.0%	43.1
7 横 浜 市	3,688,773	486,262	13.3%	2,440,385	66.6%	736,216	20.1%	43.4
8 岡 山 市	709,584	100,175	14.3%	450,108	64.2%	151,140	21.5%	43.6
9 名 古 屋 市	2,263,894	289,642	13.0%	1,463,977	65.8%	471,879	21.2%	43.8
10 東 京 都 区 部	8,945,695	946,290	10.8%	6,061,805	69.0%	1,771,978	20.2%	43.9
11 千 葉 市	961,749	123,972	13.3%	606,496	65.3%	198,850	21.4%	44.0
12 堺 市	841,966	117,750	14.0%	531,324	63.4%	189,318	22.6%	44.3
13 札 幌 市	1,913,545	224,212	11.7%	1,292,313	67.7%	391,796	20.5%	44.4
14 京 都 市	1,474,015	171,090	11.9%	935,200	65.1%	330,047	23.0%	44.6
15 浜 松 市	800,866	112,093	14.1%	499,213	63.0%	181,347	22.9%	44.7
16 大 阪 市	2,665,314	308,093	11.7%	1,734,432	65.7%	598,835	22.7%	44.8
17 神 戸 市	1,544,200	194,963	12.7%	980,959	64.1%	354,218	23.1%	45.0
18 新 潟 市	811,901	103,346	12.8%	516,311	64.0%	187,371	23.2%	45.3
19 静 岡 市	716,197	91,673	12.9%	444,745	62.4%	176,033	24.7%	45.9
20 北 九 州 市	976,846	126,391	13.0%	599,183	61.7%	244,860	25.2%	46.1

*総数には年齢不詳を含む。

(国勢調査)

データチェック

15歳未満(年少)人口の構成比が最も高いのは広島市で、次いで岡山市、15~64歳(生産年齢)人口の構成比が最も高いのは川崎市で、次いで福岡市となっています。また、65歳以上(老年)人口の構成比が最も高いのは北九州市で、最も低いのは川崎市となっています。平均年齢は、川崎市が最も低く41.5歳で、最も高いのは北九州市の46.1歳となっています。

4 就業者数

●労働力率は大都市で第1位

(単位:人)(平成17年10月1日)

都 市 名	15歳以上人口		労働力人口			非労働力人口	労働力率 B/A
	総数	うち労働力状態不詳を除く(A)	総数(B)	就業者	完全失業者		
1 川 崎 市	1,151,888	1,115,043	737,210	697,009	40,201	377,833	66.1%
2 浜 松 市	684,860	675,110	441,738	423,787	17,951	233,372	65.4%
3 東 京 都 区 部	7,450,868	6,601,485	4,255,010	4,011,554	243,456	2,346,475	64.5%
4 静 岡 市	606,726	598,179	380,216	360,812	19,404	217,963	63.6%
5 名 古 屋 市	1,900,568	1,828,196	1,155,259	1,090,380	64,879	672,937	63.2%
6 広 島 市	975,365	941,735	593,489	563,701	29,788	348,246	63.0%
7 福 岡 市	1,196,965	1,107,906	696,976	648,832	48,144	410,930	62.9%
8 さ い た ま 市	1,002,438	974,659	609,173	576,575	32,598	365,486	62.5%
9 横 浜 市	3,063,487	2,956,906	1,834,323	1,736,859	97,464	1,122,583	62.0%
10 大 阪 市	2,279,543	2,144,448	1,313,852	1,159,848	154,004	830,596	61.3%
11 新 潟 市	676,382	667,294	407,921	384,964	22,957	259,373	61.1%
12 千 葉 市	791,942	750,280	458,378	431,779	26,599	291,902	61.1%
13 岡 山 市	573,743	550,771	336,366	317,971	18,395	214,405	61.1%
14 京 都 市	1,283,373	1,208,979	734,881	688,268	46,613	474,098	60.8%
15 仙 台 市	880,109	829,109	499,104	463,466	35,638	330,005	60.2%
16 札 幌 市	1,643,879	1,534,075	906,890	840,632	66,258	627,185	59.1%
17 堺 市	708,317	679,630	399,226	370,147	29,079	280,404	58.7%
18 神 戸 市	1,320,943	1,266,952	724,501	667,301	57,200	542,451	57.2%
19 北 九 州 市	860,761	833,613	473,418	436,842	36,576	360,195	56.8%

*15歳以上人口総数には労働力状態不詳を含む。

(国勢調査)

データチェック

就業者数が最も多いのは東京都区部で、次いで横浜市、大阪市の順で、川崎市は第6位となっています。労働力率が最も高いのは川崎市で、次いで浜松市、東京都区部の順となっています。

5 事業所(民営)

● 従業者300人以上の事業所の構成比は大都市で第2位

(単位:事業所)(平成21年7月1日)

都 市 名	総事業所数	従業者規模別事業所数				300人以上の構成比
		1人~29人	30人~299人	300人以上	派遣従業者のみ	
1 東京都区部	547,610	506,216	37,214	2,464	1,716	0.450%
2 川崎市	43,525	40,600	2,685	146	94	0.335%
3 千葉市	30,198	27,728	2,295	93	82	0.308%
4 大阪市	208,289	194,510	12,419	632	728	0.303%
5 横浜市	121,943	113,144	8,191	358	250	0.294%
6 福岡市	73,601	68,251	4,941	189	220	0.257%
7 名古屋市	130,787	121,807	8,136	331	513	0.253%
8 札幌市	79,415	74,097	4,854	197	267	0.248%
9 仙台市	48,006	44,588	3,121	115	182	0.240%
10 京都市	80,349	76,138	3,849	191	171	0.238%
11 さいたま市	43,066	39,890	2,949	102	125	0.237%
12 新潟市	38,003	35,625	2,169	79	130	0.208%
13 広島市	57,209	53,608	3,312	118	171	0.206%
14 神戸市	72,748	68,356	4,015	149	228	0.205%
15 北九州市	47,064	44,365	2,523	92	84	0.195%
16 浜松市	38,771	36,493	2,102	74	102	0.191%
17 堺市	31,446	29,498	1,809	56	83	0.178%
18 静岡市	39,089	36,938	1,973	65	113	0.166%
19 岡山市	32,983	30,855	1,941	49	138	0.149%

(経済センサス-基礎調査)

データチェック

事業所数は東京都区部が最も多く、次いで大阪市、名古屋市の順となっています。また、事業所の従業者規模別をみると、300人以上の事業所の構成比は東京都区部が最も高く、次いで川崎市は第2位となっています。

6 工業(従業者4人以上の事業所)

● 従業者1人当たり製造品出荷額等は大都市で第1位

(単位:事業所、人、百万円)(平成21年12月31日)

都 市 名	事業所数			従業者数	製造品出荷額等	従業者1人当たり製造品出荷額等
	総数	4~29人	30人以上			
1 川崎市	1,539	1,305	234	53,182	3,473,586	65.32
2 堺市	1,644	1,357	287	49,947	2,645,259	52.96
3 千葉市	518	396	122	21,154	1,074,897	50.81
4 神戸市	1,998	1,659	339	71,263	2,840,164	39.85
5 北九州市	1,166	873	293	52,362	1,957,233	37.38
6 広島市	1,373	1,118	255	50,603	1,868,263	36.92
7 静岡市	1,690	1,443	247	47,007	1,542,664	32.82
8 横浜市	3,001	2,503	498	103,383	3,288,715	31.81
9 京都市	2,890	2,570	320	66,554	2,105,712	31.64
10 岡山市	899	690	209	29,040	881,741	30.36
11 名古屋市	5,169	4,617	552	110,492	3,167,885	28.67
12 大阪市	7,340	6,568	772	132,987	3,747,543	28.18
13 仙台市	574	464	110	17,825	498,168	27.95
14 浜松市	2,445	1,975	470	77,661	2,098,101	27.02
15 さいたま市	1,117	958	159	28,324	728,987	25.74
16 福岡市	948	799	149	21,790	551,660	25.32
17 新潟市	1,194	950	244	37,778	937,550	24.82
18 東京都区部	13,135	12,208	927	191,928	3,709,714	19.33
19 札幌市	1,020	833	187	27,818	478,380	17.20

(工業統計調査)

データチェック

製造品出荷額等が最も多いのは大阪市内で、次いで東京都区部、川崎市の順となっています。また、従業者1人当たりの製造品出荷額等では、川崎市は第1位と高い労働生産性を示しています。

7 商業

●1事業所当たり年間商品販売額は大都市で第10位

(単位:事業所、人、億円) (平成19年6月1日)

都 市 名	卸 売 業			小 売 業			1事業所当たり 年間商品販売額
	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額	
1 東 京 都 区	41,921	747,804	1,612,152	77,302	561,786	133,238	14.64
2 名 古 屋 市	12,853	167,439	270,656	19,759	153,086	31,917	9.28
3 大 阪 市	21,675	283,346	427,526	31,521	197,855	45,479	8.89
4 福 岡 市	7,286	88,773	120,054	13,154	98,809	19,072	6.81
5 仙 台 市	4,745	53,363	69,230	8,012	71,362	12,682	6.42
6 広 島 市	4,746	50,815	63,435	9,126	70,170	13,532	5.55
7 札 幌 市	5,551	63,482	66,664	10,772	111,543	21,335	5.39
8 千 葉 市	1,692	22,140	26,004	5,476	55,834	11,207	5.19
9 さ い た ま 市	2,576	30,926	34,732	7,028	65,076	12,609	4.93
10 川 崎 市	1,629	22,203	24,748	7,476	63,117	11,659	4.00
11 横 浜 市	5,634	66,299	60,688	20,398	182,313	37,194	3.76
12 岡 山 市	2,390	26,054	19,795	5,968	43,991	8,599	3.40
13 新 潟 市	2,905	29,212	26,310	7,854	52,095	9,410	3.32
14 静 岡 市	2,926	26,129	25,311	7,571	45,665	8,072	3.18
15 浜 松 市	2,374	21,287	19,668	7,081	48,385	9,377	3.07
16 神 戸 市	4,625	46,600	40,654	14,607	99,619	17,964	3.05
17 京 都 市	5,726	57,590	35,553	16,834	110,389	20,137	2.47
18 堺 市	1,512	14,708	10,005	5,767	44,289	7,828	2.45
19 北 九 州 市	2,652	25,668	19,787	10,696	65,793	10,904	2.30

(商業統計調査)

データ チェック

卸売業では、事業所数、従業者数、年間商品販売額の3項目とも東京都区部が最も多く、次いで大阪市、名古屋市の順となっています。
小売業では、事業所数、従業者数、年間商品販売額の3項目とも東京都区部が最も多く、次いで大阪市、横浜市の順となっています。
また、卸売業と小売業の年間商品販売額を合わせて算出した1事業所当たり年間商品販売額は、東京都区部が最も多く、次いで名古屋市、大阪市の順になっており、川崎市は第10位となっています。

8 貿易

●外国貿易海上輸出入額の総額は大都市で第7位

(単位:億円、千トン) (平成21年)

都 市 名	外国貿易海上輸出入額			海上輸(移)出入貨物数量			
	総額	輸出	輸入	輸出	輸入	移出	移入
1 東 京 都 区	102,955	36,455	66,500	12,135	28,550	10,476	21,254
2 名 古 屋 市	99,775	67,665	32,109	39,939	68,490	30,312	26,361
3 横 浜 市	82,518	55,080	27,439	34,549	40,491	16,724	23,765
4 神 戸 市	64,871	42,402	22,469	19,327	23,862	13,797	20,042
5 大 阪 市	59,460	26,767	32,693	9,701	23,116	20,570	27,557
6 千 葉 市	35,169	8,688	26,481	2,008	13,315	3,585	7,722
7 川 崎 市	28,534	10,160	18,374	7,864	49,162	17,148	9,947
8 福 岡 市	18,543	11,695	6,848	5,227	9,284	3,231	9,450
9 静 岡 市	17,760	11,977	5,783	3,128	5,179	1,224	3,799
10 北 九 州 市	14,468	8,056	6,412	5,602	18,755	30,754	31,633
11 堺 市	11,944	3,061	8,883	603	16,674	6,935	6,440
12 広 島 市	9,415	7,428	1,987	2,592	1,669	2,068	2,140
13 仙 台 市	5,927	2,382	3,545	1,595	6,701	6,151	8,245
14 新 潟 市	4,773	896	3,877	956	12,416	6,110	8,340
15 岡 山 市	4,394	934	3,460	14	-	252	1,145
16 京 都 市	1,345	1,059	286	-	-	-	-
- 浜 松 市	-	-	-	-	-	-	2
- さ い た ま 市	-	-	-	-	-	-	-
- 札 幌 市	-	-	-	-	-	-	-

データ チェック

外国貿易海上輸出入額の総額をみると、最も多いのは東京都区部で、次いで名古屋市、横浜市の順となっています。川崎市は第7位となっており、輸出額に比べて輸入額が多くなっています。
また、外国貿易を示す海上輸出入貨物数量では、輸出・輸入ともに名古屋市が最も多くなっています。川崎市は輸出品に比べて輸入量が多く、輸入量は名古屋市に次いで第2位となっています。
内国貿易を示す海上移出入貨物数量では、移出・移入ともに北九州市が最も多くなっています。

9

住宅

● 民営借家に住む世帯の割合は大都市で2番目に高い

(単位:世帯)(平成17年10月1日)

都 市 名	住宅に住む一般世帯	持ち家	借 家				間借り	持ち家割合	民営借家割合	1世帯当たり面積(m ²)
			公営借家	都市機構・公社借家	民営借家	給与住宅				
1 福 岡 市	620,466	238,417	34,593	32,889	281,283	26,813	6,471	38.4%	45.3%	67.6
2 川 崎 市	573,257	258,849	20,318	10,505	248,972	25,719	8,894	45.2%	43.4%	61.7
3 大 阪 市	1,188,290	496,237	108,208	42,103	508,073	22,499	11,170	41.8%	42.8%	59.3
4 札 幌 市	826,479	397,824	30,645	9,062	350,281	24,129	14,538	48.1%	42.4%	76.4
5 仙 台 市	428,612	209,626	12,871	4,574	178,180	19,476	3,885	48.9%	41.6%	78.8
6 東 京 都 区 部	3,936,625	1,802,545	169,971	147,223	1,594,717	151,677	70,492	45.8%	40.5%	61.5
7 広 島 市	467,793	247,431	20,704	2,553	169,160	22,771	5,174	52.9%	36.2%	80.2
8 京 都 市	631,780	343,952	25,330	15,659	226,266	12,909	7,664	54.4%	35.8%	72.1
9 名 古 屋 市	917,024	435,734	73,556	34,471	325,485	40,917	6,861	47.5%	35.5%	77.2
10 静 岡 市	261,384	157,971	10,463	1,450	79,263	9,929	2,308	60.4%	30.3%	89.7
11 北 九 州 市	406,089	215,532	34,646	16,086	122,210	14,128	3,487	53.1%	30.1%	79.3
12 さ い た ま 市	448,115	273,317	10,276	8,627	129,000	20,771	6,124	61.0%	28.8%	80.0
13 横 浜 市	1,404,039	831,932	44,960	54,350	398,172	55,504	19,121	59.3%	28.4%	73.9
14 神 戸 市	630,594	360,909	61,774	32,441	153,831	15,583	6,056	57.2%	24.4%	76.4
15 千 葉 市	361,941	213,644	13,194	31,432	86,513	14,468	2,690	59.0%	23.9%	79.2

(国勢調査)

データチェック

住宅に住む一般世帯のうち、持ち家に住む世帯の割合が最も高いのはさいたま市で、次いで静岡市、横浜市となっており、川崎市は福岡市、大阪市に次いで3番目に低くなっています。一方、民営借家に住む世帯の割合は、福岡市が最も高く、次いで川崎市、大阪市の順となっています。1世帯当たり面積が最も広いのは静岡市で、次いで広島市、さいたま市の順となっており、川崎市は大阪市、東京都区部に次いで3番目に狭くなっています。

10

消費者物価地域差指数

● 消費者物価地域差指数(総合)は大都市で3番目に高い

(全国 = 100)

都 市 名	平成18年平均		平成19年平均		平成20年平均		平成21年平均	
	総合	食料	総合	食料	総合	食料	総合	食料
1 横 浜 市	110.1	107.9	110.4	108.2	110.2	108.2	110.2	108.1
2 東 京 都 区 部	111.0	108.2	110.9	108.4	110.4	107.9	110.0	107.5
3 川 崎 市	108.3	107.9	108.5	108.1	108.3	107.9	108.5	107.8
4 大 阪 市	107.0	106.3	107.2	106.1	107.0	105.4	107.1	106.2
5 静 岡 市	104.4	102.2	105.1	103.0	105.5	103.8	105.5	105.3
6 京 都 市	105.7	107.2	106.0	107.3	105.6	107.0	105.3	105.8
7 名 古 屋 市	104.5	105.0	104.8	105.4	104.6	105.3	104.8	105.6
8 さ い た ま 市	104.6	104.9	104.6	104.8	104.7	104.7	104.5	103.7
9 岡 山 市	104.3	105.5	104.5	106.1	105.6	106.9	104.0	105.5
10 神 戸 市	103.9	104.8	103.9	104.6	103.8	104.9	103.5	104.8
11 札 幌 市	103.1	100.4	103.1	100.3	103.4	100.7	103.2	100.7
12 広 島 市	101.6	100.2	101.9	101.1	102.5	101.9	102.5	102.4
13 新 潟 市	103.2	101.3	102.7	100.4	102.4	99.9	102.0	99.3
14 千 葉 市	102.1	102.4	102.2	102.1	102.0	100.9	101.6	99.7
15 福 岡 市	100.4	100.0	100.7	100.6	100.1	99.6	100.0	98.9
16 仙 台 市	99.4	97.5	99.8	97.5	99.5	96.9	99.5	97.0
17 北 九 州 市	99.2	100.2	99.5	100.4	99.2	100.0	99.5	100.0
- 浜 松 市
- 堺 市

データチェック

平成21年の消費者物価地域差指数(全国を100とした場合の地域ごとの年平均指数)をみると、総合では、横浜市が最も高く、次いで東京都区部、川崎市の順となっており、食料では、横浜市が最も高く、次いで川崎市、東京都区部の順となっています。また、平成21年平均の総合で全国を下回っているのは、仙台市、北九州市の2市となっており、食料では新潟市、千葉市、福岡市、仙台市の4市となっています。

11 市民経済計算

●雇用者報酬割合は大都市で第1位

(単位:百万円)(平成20年度)

都市名	市民所得				雇用者報酬割合	財産所得割合	企業所得割合	1人当たり市民所得
	総額	雇用者報酬	財産所得	企業所得				
1 川崎市	4,511,643	3,837,265	74,913	599,465	85.1%	1.7%	13.3%	3,245
2 横浜市	11,323,055	8,726,909	162,729	2,433,417	77.1%	1.4%	21.5%	3,101
3 さいたま市	3,665,959	2,698,857	113,091	854,011	73.6%	3.1%	23.3%	3,055
4 千葉市	2,874,128	2,102,926	66,197	705,006	73.2%	2.3%	24.5%	3,034
5 広島市	3,675,671	2,667,973	59,239	948,459	72.6%	1.6%	25.8%	3,151
6 名古屋市	7,462,323	5,350,302	175,198	1,936,823	71.7%	2.3%	26.0%	3,320
7 仙台市	2,872,670	2,043,965	41,212	787,493	71.2%	1.4%	27.4%	2,786
8 札幌市	4,705,979	3,321,514	84,014	1,300,451	70.6%	1.8%	27.6%	2,479
9 神戸市	4,503,975	3,147,551	193,161	1,163,263	69.9%	4.3%	25.8%	2,938
10 北九州市	2,641,624	1,844,757	95,164	701,702	69.8%	3.6%	26.6%	2,682
11 大阪市	8,562,455	5,870,374	199,407	2,492,674	68.6%	2.3%	29.1%	3,229
12 東京都	4,368,506	2,919,953	91,376	1,357,177	66.8%	2.1%	31.1%	2,977
13 東京都	53,349,600	35,456,000	820,300	17,073,300	66.5%	1.5%	32.0%	4,138
14 福岡市	4,389,360	2,776,756	130,304	1,482,300	63.3%	3.0%	33.8%	3,053
- 静岡県
- 堺市
- 新潟市
- 浜松市
- 岡山市

データチェック 市民所得総額をみると東京都が最も多く、次いで横浜市、大阪市の順となっており、川崎市は第6位となっています。また、雇用者報酬の割合をみると川崎市が最も高く、次いで横浜市、さいたま市の順となっています。1人当たりの市民所得は東京都が最も多く、次いで名古屋市、川崎市の順となっています。川崎市は324万5千円で大都市平均の308万5千円と比べ、16万円上回っています。

12 治安及び災害

●人口10万人当たりの交通事故発生件数は大都市で1番少ない

(単位:件)(平成21年)

都市名	交通事故発生件数		刑法犯認知件数及び検挙件数		
	総数	人口10万人当たりの交通事故発生件数	認知件数	検挙件数	人口1,000人当たりの認知件数
1 川崎市	4,960	351.9	15,271	6,132	10.8
2 東京都区部	37,446	425.4	150,403	44,258	17.1
3 横浜市	15,791	430.1	37,490	16,232	10.2
4 札幌市	8,487	445.7	26,671	8,340	14.0
5 千葉市	4,306	450.8	18,385	5,154	19.2
6 仙台市	5,288	511.7	13,089	3,868	12.7
7 新潟市	4,216	519.1	9,891	3,930	12.2
8 さいたま市	6,385	526.7	19,657	6,502	16.2
9 大阪市	16,191	608.3	72,077	16,455	27.1
10 広島市	7,248	619.1	15,088	5,237	12.9
11 東京都	9,308	635.0	29,864	7,188	20.4
12 神戸市	9,787	636.9	27,025	8,863	17.6
13 堺市	5,406	645.2	17,246	3,273	20.6
14 名古屋市	17,236	763.4	57,878	17,188	25.6
15 北九州市	8,701	885.3	18,949	6,218	19.3
16 静岡市	6,541	912.0	8,140	2,619	11.3
17 福岡市	13,481	929.2	29,302	11,183	20.2
18 浜松市	8,969	1,105.4	9,464	2,985	11.7
19 岡山市	7,819	1,110.4	12,200	3,442	17.3

*交通事故発生件数は、道路交通法の「道路上」での法規違反による事故数を集計したものである。
*検挙件数は、発生地計上によるものである。
*平成21年10月1日現在の人口で算出。

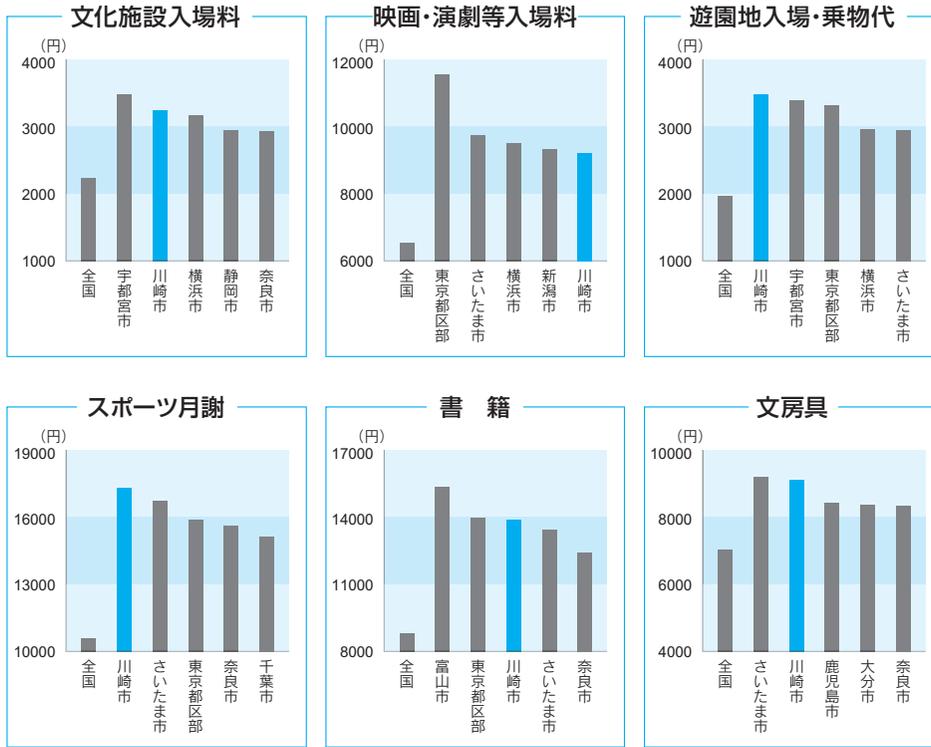
データチェック 人口10万人当たりの交通事故発生件数は川崎市が最も少なく、次いで東京都区部、横浜市の順となっています。また、人口1,000人当たりの刑法犯認知件数は横浜市が最も少なく、次いで川崎市は第2位となっています。

ちょっと一服 市民の消費傾向～家計調査結果から～

総務省「家計調査」の結果をみると、その都市に住んでいる世帯で、どのような品物に多く支出しているか、地域ごとの好みやライフスタイルの違いが読み取れます。

ここでは、平成20年～22年調査結果の品目別平均支出額を基に、川崎市に住んでいる世帯が特に多く購入(支出)している品目の一例をあげてみました。食料以外では文化施設、映画・演劇、遊園地への入場料やスポーツ月謝などへ、食料ではスパゲッティ、レタスなどへの支出が多いことがわかります。

食料以外



食料

